

提供すべきサービス及び提供すべきでないサービス

	提供できればよいと考えるサービス	提供したくないサービス・制限したいサービス
景観	・手つかずの自然を見せること ・出来る限り自然のままの風景	・大雪山連峰の遠景を阻害するような高い建物は規制するべき ・ゴミ・たばこのポイ捨て厳禁(罰金取るべき) ・景観の悪い場所、立入禁止場所
ポイント	・エゾシカを見るための場所があるのよいのでは？交通事故の関係で「迷惑者」になっていますが、発見すると観光客は道端に車を止めて写真を撮っています。自然な感じで餌付けをして、ここに行けばたいがい見られる、という場所があれば良いと思います。	
施設	・自然を体感できるアトラクションの新設 ・ふもとの町での観光の目玉(旭山動物園のような)、壮大な景観 ・縦走が出来るような避難小屋の配置 ・景色を見るための駐車出来るスペース ・モーターゼーションの発達から、旅行形態が団体から個人へ変わりつつあることをふまえ、駐車場をはじめとするインフラ整備の充実と最新情報を提供できるインターネットやライブカメラ等の高速通信基盤の整備充実を図り、数日間で地域を探訪するインタープリターを養成し、長期滞在型観光を目指す ・豊かな自然環境に気軽に接する方法(雨竜沼湿原や洞爺湖の火山散策路のような) ・現在通行出来ない遊歩道を通れるように整備する(天城岩付近等)	・駐車場整備等の開発行為
登山		・装備が不十分なままの登山ツアー等 ・登山時のストックの禁止(山体崩壊につながる) ・提供したくないサービス→軽装で入山出来るような登山道整備 ・制限したいサービス→入場制限(特に本州からの素人ツアー)
トイレ	・携帯トイレの回収BOXを登山口においてほしい(有料でも可) ・黒岳トイレの恒常的な快適利用 ・登山者～携帯トイレの無料配布又は販売、注意喚起(マナー) ・きれいなトイレの整備、休息場所の確保 ・39号・273号は特にトイレが少ないのでトイレの設置	・大雪山のトイレの整備急務と登山者に対してトイレ料金の強制徴収
交通	・黒岳から(層雲峡)旭岳(天人峡)への交通機関の確保(1周するのが大変、反対側に降りると交通が不便)。リフト・ゴンドラ等で中腹まで簡単に登れるが、注意が必要なことは充分知らせる ・ロープウェイ等のインフラ整備(見てもらうための！)	・マイカー規制 ・マイカー規制は必要 ・観光最盛期や紅葉時期のマイカー規制 ・マイカーの乗り入れ ・重点的に保護する地区及びその周辺へのマイカーの出入りは規制すべき ・行ったことがないのでよくわからないが、なるべくありのままを見てもらえばいいと思う。マイカーで入れる場所はある程度確保した方がいいと思う

	提供できればよいと考えるサービス	提供したくないサービス・制限したいサービス
交通		・重点的に保護する地区及びその周辺へのマイカーの出入りは規制すべき
		・道路工事の通行規制。工事の制限。
		・長距離トラック等の過剰なスピードの出し過ぎによる交通危険。ポイ捨てによるゴミ
		・道路の通行制限をするべき
		・重点的に保護する地区及びその周辺へのマイカーの出入りは規制すべき。
		・交通制限
飲食	・地場産食材を使用したスローフードのお店	・コンビニ
	・良好な景観が楽しめる(見ることが出来る)休憩・飲食サービス施設等の憩いの場所を厳選して提供。訪問者とのふれあいを大雪にする(良好な地域イメージをもってもらう)ガイドサービス	・ゴミが出るような飲食物等の販売
	・大雪ダム周辺に景色をみながらゆっくり軽食やコーヒーを飲める場所があるといい。	
サービス	・人と自然の共存のあり方や景観・環境教育を体験出来るようにすること	・商業目的のサービスをある程度規制すべき。
	・国立公園なのでサービスは不要と思います。自然があるので他には何も無い方がよいのでは？	
	・都会とは全く違う所(そこそこ不便でよく、最低限の観光案内と、困ったときに電話などで相談できるセンター)	
	・北海道の大自然を満喫してもらう取り組み。癒しのサービス	
情報	・天候状態をリアルタイムで知ることができるようにすること(電話、HPなど)	・不用意な放送
	・リアルタイムな天候情報と、服装装備等、安全往来に係る情報。	・貴重種等の情報
	・山頂の天気や紅葉情報	・ロープウェイの運行情報、層雲峡や旭岳に通じる道路情報(通行規制情報)を発信する
	・適切な気象情報	・自然のままの素晴らしさが一番であり、登山のマナーや教育は必要である。過剰な観光案内的なパンフレットは必要ないと思う
	・毎日の気象と高山植物の開花など	・安易に登れると勘違いするような情報
	・入山時の気象情報サービス、クマ出没情報	
	・花の咲き状況や雪情報	
	・大雪山特有の稀少種等の情報	
	・リアルタイムに今の山の状況を知ることができるシステムがあるとよい(あるのかもしれませんが・・・)	
	・交通アクセス、自然状況(紅葉、初雪など)の情報提供やビジターセンターにこんな動物が来ました、など	
	・観光シーズンの道路情報及び四季折々の見所情報	
	・道路・気象情報	
	・車で来る人が多いと思われるので、ラジオでの気象情報、道路情報の提供	
	・アクセスの手軽さをアピール出来たらと思います。イメージ的には遠い、行きにくい感じがします	
	・公共駐車場の情報(特に紅葉時期、土日の交通整理)等	

	提供できればよいと考えるサービス	提供したくないサービス・制限したいサービス
情報	・札幌市や旭川市からの季節毎の所要時間やイベント情報 (交通機関が限定される大雪山系はマイカー移動が中心で、しかも距離が遠いことで所要時間が一番気になる点)	
	・一般者～その時期に見頃なものの情報提供、注意箇所の情報提供	
	・道路情報等を含めた大雪山国立公園全体の観光情報	
	・道路情報等を含めた大雪山国立公園全体の観光情報及び注意情報	
	・マナーに関するルール、避難小屋などの危機管理情報、ビューポイントなどの観光情報	
	・大雪山国立公園全体の観光情報。情報の入手方法がよくわからない	
	・素晴らしい景観情報、安全な登山ルート情報、周辺の宿泊及び観光情報	
	・道路情報等を含めた大雪山国立公園全体の観光情報やスキー場の情報提供。過去の遭難事故情報や立入禁止区域の提供	
	・安全対策等の情報提供	
	・サービスではなく、自然の厳しさ、現況の情報の提供(事故防止)	
	・宿泊、気象、交通情報、イベント、見所等の情報発信	
	・観光サービス情報の発信	
	・インターネットを使用しない人のためにインターネット以外の情報提供	
	・できるだけ自然のままが一番であり、大雪の素晴らしさを知ってもらうことは大切でありますので正確な情報の発信は必要であります。日帰り登山ツアー等の方々はゴミを持ち帰って欲しいことと、事前に用を済ませてから登山をして欲しいところであります	
広告	・提供できるサービスを明確に表示し、それ以外は不可能と周知し無理な期待を抱かせない。	・過度な商業活動や宣伝(TVクルーのやらせ報道)
		・ホテル、旅館などの無秩序な看板類
		・屋外広告物の乱立、デザインセンスのない沿道施設の建設
		・公園内の無秩序な開発された姿、無秩序な看板、歓楽街の無駄な音楽など
		・営利を目的とした企業・個人の過剰な宣伝など
		・景観を阻害する派手な看板
		・道路脇にある旅館・ホテルの看板(今年開通する上川層雲峡ICや上川駅等の交通拠点などにインフォメーション施設を併設し、そこでPRすれば事足りる。観光地に至るまでの道路も大切な景観資源だと思います)
		・地名(観光地)以外の個別の宣伝看板を制限する。観光地で流れる音楽等のボリュームを制限する
		・温泉街の過剰な宣伝、看板等
		・過剰な宣伝でツアー客への斡旋
通信	・携帯電話等の通信手段の整備	
	・各社の携帯電話の使用できる登山道が増えると、安心感が増すので、登山客が更に増えるのでは？	

	提供できればよいと考えるサービス	提供したくないサービス・制限したいサービス
通信	・モーターゼーションの発達から、旅行形態が団体から個人へ変わりつつあることをふまえ、駐車場をはじめとするインフラ整備の充実と最新情報を提供できるインターネットやライブカメラ等の高速通信基盤の整備充実を図り、数日間で地域を探訪するインタープリターを養成し、長期滞在型観光を目指す	
ガイド	・行ったことがないためわからないが、観光の見所を楽しみやすい雰囲気の地図にしてわかりやすくした方がいい。その場所まで行くために道順もわかりやすくなっているといいと思う	・各地区の山岳ガイドの方達の質の向上が重要である
	・軽くてできる登山等のガイド	
	・ビジターセンターによる体験学習（登山・ハイキングによる動植物観察等）	
	・モーターゼーションの発達から、旅行形態が団体から個人へ変わりつつあることをふまえ、駐車場をはじめとするインフラ整備の充実と最新情報を提供できるインターネットやライブカメラ等の高速通信基盤の整備充実を図り、数日間で地域を探訪するインタープリターを養成し、長期滞在型観光を目指す	
	・写真撮影スポットを案内する。また、撮影に際し樹木などが影響しないように高所に視点場を設ける	
その他	・登山道以外への立入制限	・人の出入りを制限させること。また、期間限定でガイドが付いて普段は入れない地区を見学出来ること
	・国立公園に指定している必要性。自然の大切さ。	
	・必要最低限のことだけでよい（道路規制等）	

(*) 関係機関からのアンケートの回答を整理・要約したもの